

道徳科学習指導案

広島市立〇〇中学校
教諭 〇〇 〇〇

- 1 日 時 令和3年11月〇日(〇)
- 2 学年・学級 第1学年〇組
- 3 主 題 名 きまりを守る社会【C-(10) 遵法精神、公德心】
- 4 教 材 名 「ふれあい直売所」【「あすを生きる1」(日本文教出版)】
- 5 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値

法やきまりは、社会に秩序を与えるために人間の知恵が生み出したものであり、社会の秩序と規律を守ることによって、個人の自由は保障される。こうした法やきまりに則り、社会生活の中で守るべき正しいことを大切にしようとする公德心をもって、一人ひとりが日常生活を送ることによって、人々にとって安全で安心な住みよい社会が実現できる。

中学生の時期には、法やきまりに対して、「ルールだから守る」「ルールを守ればそれでよい」と他律的に捉えたり、自分たちを拘束するものとして反発したりする傾向が見られる。そのような時期だからこそ、自分たちが法やきまりを守ることによって安全に安心して暮らせる社会を支えていることだけでなく、そこには、自分や相手の権利を大切にし、自分の自尊心を「自分を裏切らない」という気持ちや、相手の心情を思いやる心が必要であることに気づかせたい。

(2) 生徒の実態

(略)

(3) 指導にあたって

本教材は、無人直売所で野菜を販売する主人公が、売り手と買い手に成立すべきルールが守られていない状況を不安に思い、無人直売所を続けていくかどうかを葛藤しながらも、ある親子の姿から、大事なことに気づき、無人直売所を続けていこうと決意するという内容である。

主人公が、無人直売所できちんとルールを守って購入してくれる人が確かにいるということに安心感を覚えるとともに、売り手である自分は目の前にいなくても、「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えてくれる人がいることや、自分がだれかを笑顔にしていることに気づく場面について考えさせることによって、人々が安心して気持ちよく生活するためには、ルールが守られるだけでなく、自分や相手の権利や気持ちが尊重されることが大切であることを理解させたい。法やきまりの意義を理解することを通して、今後、どのようにきまりと向き合いながら生きていくのかを考えさせたい。

6 本時のねらい

「私」の心情を変化させたものを考えることを通して、自分や相手の権利や気持ちを尊重しながらきまりを守ることの大切さに気づき、だれもが安心して気持ちよく生活できる社会づくりに貢献しようとする実践意欲と態度を育てる。

7 評 価

だれもが安心して気持ちよく生活できる社会の実現のために進んできまりを守ろうとする姿勢が発言や記述に見られたか(全体、グループ、ペアでの発言、ワークシート)。

8 準 備 物 パソコン、テレビ、写真、場面絵、ワークシート

9 本時の展開

	主な学習活動	支援 (◎) 問い返し (●) 評価 (★)
導 入	<p>1 無人の直売所について知る。 無人の店の写真を見る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>無人直売所がどういうものか知っているか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・見たことはある。(実物やテレビで) ・買ったことがある。 ・買いたいものの代金は箱に入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 無人直売所の写真を見せる。 ◎ 商品を買いたい人は、その代金を箱などに入れて、売買が成立するルールになっていることを簡単に押さえる。
展 開	<p>2 資料 (前半) を読んで考える。 「私」の思いについて整理する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「私」はどのような思いで直売所に野菜を出しているのか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・気軽に食べてほしい。 ・安くして買えることで喜んでほしい。 ・安心して食べてほしい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>妹と「私」の考えはどのようなものだったか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・妹 …… 誰も見てないから、不正をする人がいる。 不正されなくてももうけにならないから全部出荷した方が得。 ・私 …… もうけは気にしていない。 ちょっとくらいは足らなくても仕方ない。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>妹の言葉をめぐい去ることができなかったのはなぜか。</p> </div> <p>ペアで考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金が合わないのは勘違いしている人がいるからだろう と思う反面、お金を払わないで野菜を持っていく人がいる 可能性も否定できないから。 ・人を疑うのはよくないと思うのに、疑う気持ちを消せない から。 ・自分は利用者に喜んでもらいたいという気持ちだが、それは 伝わっていないのかもしれないと不安になったから。 <p>3 資料 (後半) を読んで考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「私」は親子の会話を聞いて、どう思ったか。</p> </div> <p>空白の部分の内容を想像してワークシートに記入。 少人数グループで意見交流。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金を入れてくれたので安心した。(確かに、お金を正しく 入れてくれない人もいるかもしれないけど、こうしてちゃん とルールを守ってくれる人もいる。) ・ありがどうと言ってくれたのでうれしい。(多くの人に喜ん でほしくて始めた直売所なので、自分の気持ちが伝わったと 感じてうれしい。) ・自分の野菜を喜んでくれてうれしい。 ・利用してくれる人を信じよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 利用者のことを考えて、心を込めて販売していることを捉えさせる。 ◎ 儲けや損得を基準に考える妹と、それを重要視していない「私」の考え方の違いを押さえる。 ◎ 一理ある妹の意見による「私」の心の葛藤について考えさせる。 ◎ 「私」の心の中にあるいろいろな気持ちに気づかせる。 ● 「何が気になっているのか」「妹の言葉を聞いてどう思ったのか」などを聞く。

	<p>4 信頼関係を守る社会を実現するためにできることを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>気持ちよく生活するために必要なことは何か。</p> </div> <p>ワークシートに記入。 少人数グループで意見交流。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルール、マナーを守る ・相手のことを考える。 ・お互いに感謝する。 ・人を信じる。 ・「自分一人くらい」、といった考えをなくす。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「『ふれあい直売所』の『ふれあい』とは何か。」「何と何のふれあいなのか。」 ※ 無人でも、お互いの信頼関係があって成立していることに気づかせる。 ● 「ルールを守るだけでいいのか」 ※ 感謝の気持ち、信頼する気持ちも大切であることを理解させる。 ★ 一人ひとりが当事者として。だれもが安心して気持ちよく生活できる社会の実現のために進んでいきまわりを守ろうとする発言や記述が見られたか。 ◎ 昼休憩のボールの貸し出し場面の写真を見せ、みんなが相手を信頼し、感謝の気持ちをもちながらルールを守ることで、気持ちよく生活ができていることに気づかせる。
<p>終末</p>	<p>5 今日の学習を振り返る。</p> <p>ワークシートに記入。</p>	<p>◎ これからどう生活していこうと思うか書かせる。</p>

10 板書計画

ふれあい直売所

「私」はどのような思いで野菜を出しているか

「私」(絵)

- ・ 気軽に食べてほしい
- ・ 安くして喜んでほしい
- ・ もうけは気にしない

妹(絵)

- ・ お金を入れない
- ・ もうけにならない

妹の言葉をぬぐい去ることができなかったのはなぜか

- ・ お金が合わないことがある
- ・ 疑うのはよくない

もやもや ←

親子の会話を聞いてどう思ったか

- ・ お金を入れてくれた
- ・ ありがとうと言ってくれた
- ・ うれしい
- ・ 信じよう

気持ちよく生活するために必要なことは何か

- ・ ルール、マナーを守る
- ・ 相手のことを考える
- ・ お互いに感謝する
- ・ 人を信じる

場面絵

直売所の写真